



中沢かつゆき 通 信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自由民主党

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！



自民党鎌倉市連合支部幹事長

2月議会

新年度予算審議を行う2月議会。今議会前に新ごみ焼却施設建設予定地の発表を行う予定でしたが、なぜか議会後に発表となりました。市民生活に直結するゴミ処理政策が、現市長になってから二転三転し、現在の行政計画では「戸別収集・有料化」となっているにもかかわらず、ゴミ有料化だけを強引に実施。戸別収集費用は、鎌倉市が説明会で「約14億円」としてきたものが、実は「約22億円」と見積もりが出されていたということの中沢が議会で追及。明確な答弁ができないまま戸別収集は延期。ゴミ有料化で約2億円新ごみ焼却施設建設費に積み立てられるとしていますが、ゴミ収集費が他市に比較して安く押さえられている中、人員確保などで収集費用の値上げを行わざるを得なくなってきました。また、全国でゴミ焼却施設建て替えの時

期となっており、鎌倉市が今後交付金申請をしても予定通り交付される見通しは、全く立っていません。現市長就任前に決定していたゴミ処理計画を白紙として迷走。新ごみ焼却施設建設予定地発表後、さらに混乱予想されます。

防災対策では、M2Mを新たに検討していく必要を感じ、東日本大震災以降進めてきた鎌倉市の整備に加えていくべきだと思います。災害予知と現状把握、各種データ管理などこれからの災害対策に大いに期待できると思います。また、装備や設備に重点を置いてきた予算措置を、今後ソフト面での拡充をしていくよう要望しています。

鎌倉市議会でもICTを検討はじめましたが、検討部会長として導入に向けて進めていきます。

新たな観光施策

大河ドラマ「花燃ゆ」で主人公の杉文さん。兄上は鎌倉縁の吉田松陰先生。再稼したのは初代群馬県令の楢取元彦さん。この時官営を維持したのがと世界遺産登録・富岡製糸場。その富岡製糸場が民間に払い下げられ、そのあとの社長が三溪園を作った原三溪さん。三溪園には、東慶寺仏殿が移築されています。鎌倉市の姉妹都市・萩市から鎌倉市、群馬県、横浜市。生糸を運んだ鉄道。今年から、東海道線が高崎線に直通となります。大河ドラマで鎌倉縁の吉田松陰先生が出ていますので、観光政策の一助としたいと思います。

西御門にある源頼朝公墓所。その横に、1779年に島津重豪公により整備されたのが、島津祖・島津忠久公墓。その隣には、1823年毛利藩により整備され

た大江広元公墓があります。大江広元公は、毛利祖。薩長同盟は1866年ですので、実に63年前にはすでに鎌倉の地で「薩長同盟」が結ばれていたこととなります。このことは、あまり広く言われてきませんでした。鎌倉といえば、どうしても「鎌倉時代」。でも、時代が下っても、「鎌倉」です。幕末には歴史を動かした背景となっていました。毛利藩の吉田松陰先生が二階堂を通ったのは史実。そのすぐそばには毛利藩士が参拝した大江広元公墓。吉田松陰先生の遺志を継いだ多くの志士。勝海舟先生を始め坂本龍馬公も浦賀道を通っています。鎌倉の観光を新たな視点から考えていこうと思います。

防災について

東日本大震災直後に被災地に伺ったとき、宮古市長が「どこに何人避難しているかわかれば、どんな手段を使っても物資を届けます。でも、その情報が入ってこないんです」とお話をされていました。テレビでは、連日のように避難されているながら物資が全くないということが報道されていました。2週間後に被災地に伺ったときは、既に避難所には物資が山となっていました。通信が早く復旧すれば、情報伝達方法は様々あったと思います。東日本大震災から得た、大きな課題でした。

機会があり、NTTdocomoの視察に伺いました。数年後には実現している最先端技術を目の当たりにし、様々な応用研究がこれから進んでいくことを痛感しました。携帯基地局がダウンしても、複数携帯基地局をカバーする中継基地局の整備が進んでいるそうです。バッテリーは、72時間。移動通信車もかなり配備できるようになっているのことでした。そして、現在研究を進めているのは、M2M。機器と機器の通信を使って、災害発生を予知した

り、災害発生時に各種データを集めて処理を行ったり。さらには、その各種データをアプリを使って一元管理していくことも可能だそうです。河川の水位を定時管理したり、斜面地の変化を管理していくこともできるそうです。議会中に、県から鎌倉市の海岸線は14mの津波が10分で到達する、と発表されました。鎌倉市の災害対策の考えを、根本から変えていかなくてはならない事態となっています。かねてから提案している通り、観光客の多い鎌倉では通信インフラの拡充は、喫緊の課題です。通信会社の最新技術を活用し、国や県などともデータ共有できるシステムを構築していく必要があります。今後、通信技術に関して検討を重ねていきたいともいます。

鎌倉市議会も、タブレットを活用になってきました。災害時に、情報収集などに議員の行動が支障をきたしてきたこともあります。M2Mで自己収集できるようになっていきます。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
 東京電機大学理工学部情報科学科卒業
 スパライズ株式会社代表取締役
 大阪観光大学観光学研究所客員研究員
 鎌倉中央ロータリークラブ副会長
 材木座保育園保護者会会長
 にかいどう子どもの家父母会会長
 県議会議員中村省司秘書
 湘南獣医師会 顧問
 鎌倉野球協会副会長
 著書「安全な温泉・あぶない温泉」
 （草思社刊）
 鎌倉市議2期 総務常任委員長
 二階堂在住
 事務局：Tel 0467-61-0305
 Fax 0467-24-5658

約束の実現

6年前、今泉地域の皆さんとお約束したのが、砂押川歩道整備。40年来の懸案事項でした。先輩議員が何度も議会で取り上げてきましたが、実現に至ることはありませんでした。自民党地方議員として、県や国に働きかけ、河川法の解釈を変えて整備することができることに。昨年度には実施設計と測量が行われ、いよいよ実現する道筋ができました。今年度、3か年計画の初年度工事費が予算化され、1/3工事が着工することとなりました。しかし、各方面との調整で時間がかかってしまい、着工は年度末予定。しかし、次年度予算には第2期工事の予算も盛り込まれています。砂押川を安心して絵歩けるようになり、約束を実現でき、本当に良かったと思います。

全天候型テニスコート。改築中の大船中学校に3面と山崎浄化センター屋上にも整備予定。一つ一つ約束をこれからも実現していきます。

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



南網張ありね温泉：秋田新幹線・雫石駅から車で20分、小岩井農場からも車で15分、森に囲まれた宿・ゆこたんの森があります。館内は木の温もりがあふれ、夏には関東では珍しい「ミヤマクワガタ」が窓にたくさん。雪に覆われた岩手山を雄大に眺めて入る朝風呂は格別。館周辺の散策道を歩くと、様々な鳥たちが出迎え、木々の香りが体を包んでくれます。朝食会場から見える、朝の雲滝は見事です。温泉は日帰りも行っています。檜風呂と岩風呂。檜露天風呂は、すぐそこが落城樹林。四季を通じて趣を変える風景に、何度来ても飽きない温泉です。岩風呂は、岩と檜のコラボレーション。泉質は、含硫黄 - ナトリウム - 炭酸水素・塩化物泉。適応症は、冷え性、慢性婦人病、関節痛など。近くの小岩井農場は、動物とのふれあいだけでなく、子供たちが一日遊べる場所も。秋の紅葉は見事です。雫石スキー場もすぐ。季節を問わず訪れて楽しい南網張ありね温泉・ゆこたんの森。新緑は目にまぶしいです。

<http://www.iwate21.net/yukotan/>